

「金融機関のITガバナンスに関する対話のための論点・プラクティスの整理」等の概要

- 従来の検査・監督のあり方を見直し、「検査・監督基本方針」を公表（平成30年6月29日）。同基本方針の分野別「考え方と進め方」として、次の内容を意見募集に付すもの（3月14日）
- ITシステムの分野については、下記のように、近年の金融を巡る環境変化も勘案し、ITと経営戦略を連携させ、企業価値の創出を実現させるための仕組みであるITガバナンスの発揮について金融機関と対話していくため、金融庁の対応を見直す
- 従来のシステムリスク管理態勢のモニタリングについては、検査マニュアル廃止後、システムリスク管理では一般にある基準等を活用、システム統合リスク管理ではチェックリストに代わる考え方・着眼点を存続

～金融機関のITガバナンスに関するモニタリングの必要性～

金融機関のITガバナンス

ITガバナンス

ITシステムを企業価値創出につなげるための仕組み

【参照基準等】

「金融機関のITガバナンスに関する対話のための論点・プラクティスの整理」

ITマネジメント(IT管理)

金融機関のシステム安定稼動を目的としたリスク管理

【参照基準等】

一般に存在する各種ガイドライン等

システム統合リスク管理

システム統合のプロジェクト管理等

【参照基準等】

「考え方・着眼点(詳細編)」

金融庁の対応

今後のITガバナンスのモニタリング



従来のシステムリスク管理態勢のモニタリング

金融を巡る環境変化に伴う懸念

- 人口減少・高齢化の進展や低金利環境の長期化等の状況下でも、自らの体力等を踏まえつつ、利用者ニーズにあった金融サービスを提供するためのITシステムを検討する必要性

- 厳しい環境にありながら、自らの体力に見合わない過大なシステムコストを放置すると、利用者利便の棄損、さらには将来的な健全性の問題にも繋がりうるおそれ

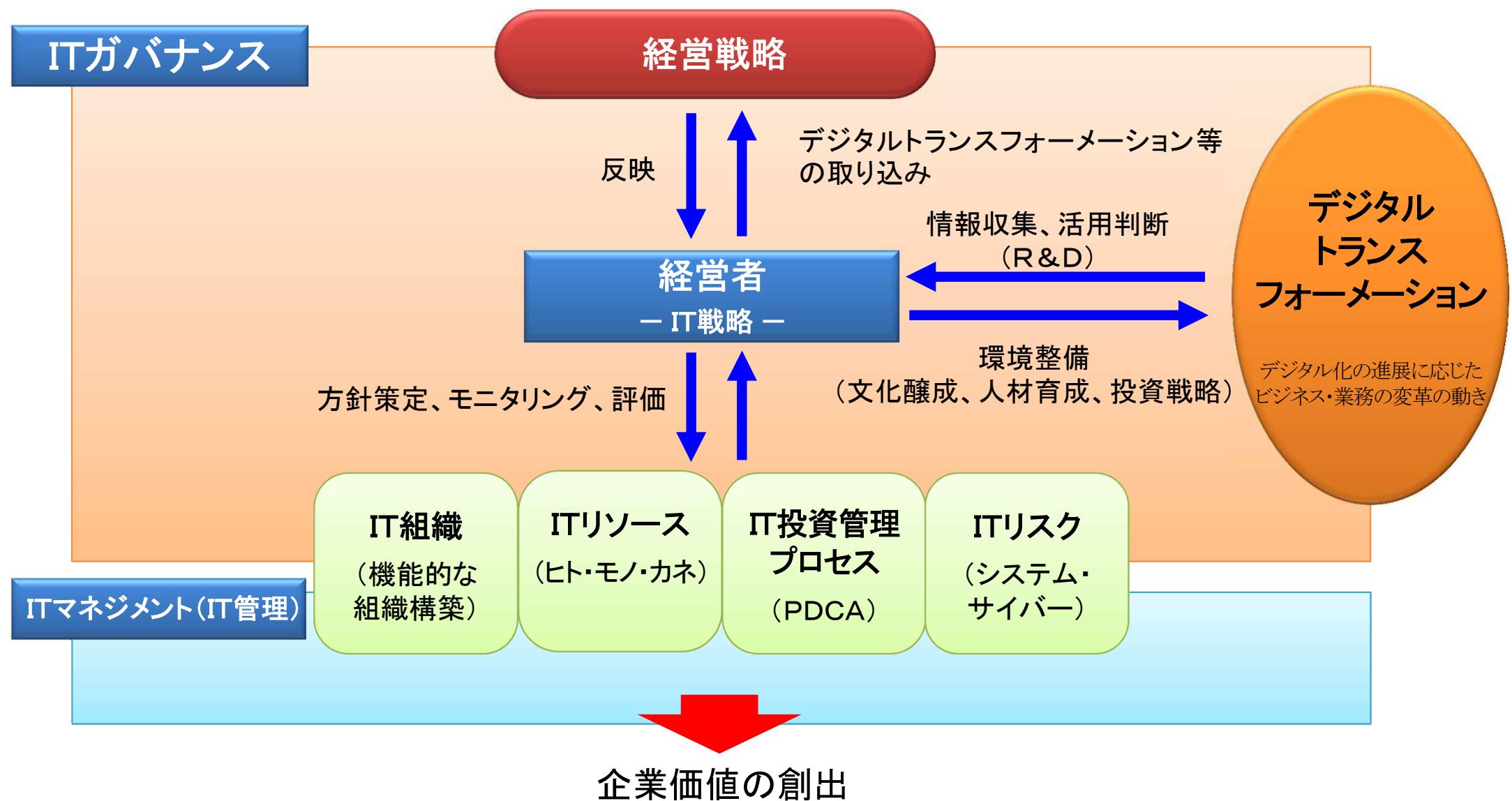
- デジタライゼーションの加速により、様々なプレーヤーが金融分野に進出し、今後プラットフォーマー的な存在も登場しうる中、金融機関も情報の利活用を含むビジネスモデル変革が進む可能性。金融機関でもデジタル化によるビジネスモデル変革が進む可能性

- 金融機関によっては、非金融からの新たなプレーヤーに対抗すべく、企业文化や人材戦略を含めたビジネス・業務の転換が見込まれる



(参考) ITガバナンスの概念イメージ

「ITガバナンス」とは、経営者がリーダーシップを發揮し、ITと経営戦略を連携させ、企業価値の創出を実現するための仕組み。



(参考) ITガバナンスに関する考え方や着眼点

◆ 企業価値を創出するITガバナンス

システムを安全・安定的に運営する「ITマネジメント（IT管理）」だけでなく、ITと経営戦略・事業戦略を連携させ、企業価値の創出を実現する「ITガバナンス」が構築されているか。

① 経営陣によるリーダーシップ

ITガバナンス構築にあたり、経営陣がリーダーシップを発揮し、主体的に取り組んでいるか。

② 経営戦略と連携した「IT戦略」

IT戦略が、経営戦略・事業戦略と連携されているか。また、デジタルトランスフォーメーションをどのように捉えているか。

③ IT戦略を実現する「IT組織」

システム部門や外部委託先に任せきりにせず、IT戦略やデジタルトランスフォーメーションを担う機能が適切に配置されているか。また、例えばIT部門と営業部門など、役割と責任が明確にされているか。

④ 最適化された「ITリソース（資源管理）」

ITリソース(ヒト、モノ、カネ)がIT戦略に基づき配分され、最適化が図られているか。

⑤ 企業価値の創出に繋がる「IT投資管理プロセス」

企業価値の創出に繋がる戦略的なIT投資が行われているか。また、IT投資に対する効果評価を含むPDCAがまわっているか。

⑥ 適切に管理された「ITリスク」

ITリスクについて、新技术未導入の機会損失も含めて、検討されているか。

実効的な「ITマネジメント（IT管理）」

ITガバナンスを支えるために必要なITマネジメントが構築されているか。

ビジネスモデルを変革する デジタルトランス フォーメーション

- デジタルトランスフォーメーションへの取組みについて、社内の各業務のあり方の観点から検証しているか。
- トライ＆エラーの文化の醸成や、多様な人材戦略、R&D等をどのように考えているか。
- 新しいサービスの創出などのイノベーションのほか、コスト削減・生産性向上などの業務改革に取り組んでいるか。

従来からの
モニタリング領域